

平成13年度 “通信教育造船科講座”

注意

受講者番号を間違わず必ず
記入して下さい。そうでない
と返戻できません。

添 削 問 題

船 体 艀 装

(第 1 回)

(1) 受講者番号
及び氏名

番号	第	号	氏名	
----	---	---	----	--

採 点		講 師 印	
--------	--	-------------	--

(2) 最終投函日

平成13年 9 月28日

指 導 欄

問題1. 次に示す項目は居住区船体艀装行程である。工程の順に番号を並べよ。

- | | | |
|---------------|-----------------|---------|
| (1)間仕切り | (2)入口扉 | (3)管水圧 |
| (4)塗装 | (5)家具取付 | (6)防熱保温 |
| (7)地上艀装 | (8)舷窓取付 | (9)青空搭載 |
| (10)各種テスト | (11)管、ダクト、補機台取付 | |
| (12)仕上塗装、敷物仕上 | (13)甲板敷物下塗 | |
| (14)化粧縁取付 | (15)小物、木工金物取付 | |
| (16)天井根太、内張 | (17)壁根太、内張り | |
| (18)完成検査 | | |

問題2. 玉掛けワイヤーの点検要領について述べよ。

問題3. 管工作法について述べよ。

(1) 管の加工工程を順に述べよ。

(2) 圧力10kg/cm²以下のパイプフランジ溶接の脚長とパイプ厚さの関係を述べよ。

問題 4. 次の文章の()内に適当な語句又は数値を入れなさい。

- (1) 船殻構造と無関係に地上で艀装品を組立てまとめて搭載する艀装法を()
という。
- (2) 冷凍機は、冷媒を用いて()、()、()の3段階
の作用を繰返行い、その()の際に冷蔵庫内に熱を吸収するもので
ある。
- (3) フランジの締付けは適当な()と()を使用しボルト
の締付後、ネジ山が()山程度ナットよりでているのが適正であ
る。
- (4) 主操舵装置は最大航海喫水において()で前進中に、舵を片舷
()度から反対舷()度まで操作でき片舷()
度から反対舷()度まで()秒以内に操作することが定
められている。
- (5) 揚鋼材の能力は、両舷の錨及び錨鎖各()節を同時に、()
分間に() m以上の速度で巻き込める。
- (6) ()管は自然放出であるため配管に傾斜をとる事とし、原則的に
は()以上とし、更に船の()を考慮する。

問題 5. 配管設計に於いて下記の2系統について注意すべき点を述べよ。

- (1) 空気抜管

- (2) 汚水管 (便管)

